

(里山ハイキング同好会実施報告)

令和5年度 賤ヶ岳ハイキング

里山ハイキング同好会 会長

31期 高山雅史

令和5年11月15日実施

今年は4月と10月の2回天候不順でハイキングが中止となり11月に3回目で会員の都合から3名で実施しました。9:27JR余呉駅着でスタート。賤ヶ岳の頂上を目指すルートは東西両周りがあります。今日は西回りにした。

歩き始めるとそれまで降っていた雨が上がり、周りの山にかかっていた霧が徐々に晴れて雨に会わずに済みました。駅を出て10分位で余呉湖を見下ろす高台に出た。

左に余呉湖を見ながらの途中あじさい園で釣り人に会った。この人はワゴンをキャンピングカーに改造して各地の釣り場を回っている人で団子の代わりにヨーロッパ製の10mm位の球形の餌で鯉を釣っていた。釣り三昧のうらやましい人であった。

10:00 登山口に着いた。横に建っていた国民宿舎は更地になっていた。

賤ヶ岳は柴田勝家と豊臣秀吉の合戦で有名な処。この登山口の切通しは賤ヶ岳の上から秀吉が勝家の軍勢に鉄砲を撃ちかけ破ったところです。山道には細かい石ころの多い登り一方の道で、休みながら登った。

11:45 頂上に着く。このころ空の雲が抜けて快晴、微風のためポカポカ暖かいハイキング日和となった。平日にも関わらず20~30人の人出。晴天で上空の雲が余呉湖の湖面に映り輝いていました。南側の尾根道の先には山本山もくっきり見え、右の琵琶湖も太陽を反射させて美しい。温かい日差しの下で昼食とコーヒを楽しみました。この時頂上直下の案内板の所にボランティアガイドの方がおられ、10人ばかりが賤ヶ岳合戦の話を楽しみました。頂上に合戦の解説図があるが、どこで合戦が行われたのかわかりにくい。解説を聞くと余呉湖の周りのほとんどの所で合戦があったということでした。また北の方向で一番高い山が行市山で勝家の陣があった所で、解説も3回に分けて丁寧にされたのでよく判りました。

下山道はやや急で落ち葉の道は障害物もなく歩きやすい道でした。リフトの下を2回くぐり下山口に出て、30分ほど歩いた木ノ本駅(14:20)から帰路につきました。

